

立憲
れいわ
市民の会塚田ひさこの
としま区議会ニュース2023年
03号発行日: 2023年12月25日
発行: 立憲・れいわ・市民の会 発行責任者: 塚田ひさこ
連絡先: 〒171-8499 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所9階(立憲・れいわ・市民の会 控え室)
電話: 03-4566-2956
塚田ひさこ事務所: 豊島区目白2丁目18-15-411 電話&FAX: 03-6914-3140WebSite: <https://toshima.site/> 『チャコの区議会物語』 <https://maga9.jp/category/chako/>
E-mail: tsukada@toshima.site X(旧Twitter): hisakotsukada9

「賃金アップを地域からも求めていく」

(第4回一般質問: 「公共」の役割としての働く環境の整備より)

2023年は、街に人がもどってきました。イベントも再開され、はなやかな雰囲気にも包まれている様子を見てみると、あたかも私たちのくらしの経済が上向きになってきたかのような錯覚に陥りますが、そうではありません。私たちの足元の経済は18か月連続で実質賃金がマイナスになるなど、冷え込んだままです。地域においても、ここで暮らす人の賃金がアップし、地域にお金が回って需要が増える「好循環」が必要です。その環境を作るのも「公共である自治体」の役目であり、本気になれば作れます! その視点から質問を行いました。

一般質問をはじめ、
塚田ひさこの議会での発言
を
こちらで見ることができます「会計年度任用職員(一般事務職種:1,174円~)の最低賃金の
ラインを1500円にするべきではないか?係る職員の報酬額は人事院勧告に基づく給与表に準拠しているので、目標金額を
別に掲げる考えはない。勧告を踏まえ、社会情勢に適應するよう随時改善する。

豊島区

*) 正規職員の給与は国家公務員の給与水準を決める人事院勧告を参考にしますが、会計年度任用職員については人事院勧告の対象ではなく、区独自に決めることができます。「最低時給1500円」は、先の岸田首相も2030年までに目標にすると表明したように、人間らしい生活のためには必須の数字です。ちなみに英国は財務相が議会にて2024年4月より最低賃金を時給11.44ポンド(2128円)に引き上げると発表しています。今の日本社会の賃金が低すぎることから「一般市民感情によりそい公民の給料は削減すべき」などと言い、人件費を今以上にカットするべきとの向きもありますが、私はその立場には立ちません。正職員のみならずあらゆる公務セクターで働く人たちの賃金が適切に上がっていくことが、社会全体の賃金の底上げにもなると考えているし、そうならなければなりません。

「高齢者にふさわしい新たな公共の仕事を創出するため、シルバー人材
センターの時給を、1300円~1500円とするべきではないか?

豊島区

最低賃金の引き上げに応じた賃金の割増は必要だと考えているが、
現行の設定は適正であると考えている。

*) 私は高齢者がいつまでも現役さながらに働くべきであるとは思っていません。しかしこの国の社会保障制度設計の失敗で、生きていくために働かざるを得ない高齢者がたくさんいます。人生の終盤を迎えた高齢者が、厳しく危険な労働環境の中、低賃金で働く状況は、とても人間の尊厳が守られているとはいえません。前例主義を取り払って、苦しい生活を強いられている人々のために、本気になって区が率先してやるべきです。これからも求めていきます。

活動報告

会派から2024年度(令和6年度) 予算要望を区長にしました。

2023年決算は堅調な伸びとなりました。2024年予算編成は国の支援が行き渡らず、困窮している区民への投資に財政負担を傾ける時期です。苦しさを訴える区民の声に真摯に向き合い、会派からは今、やるべき政策の優先順位を明確にする予算編成を強く求めました。



△
要望書の全文は
こちらで見ることができます

富山市の「未来共創」(未来共創推進事業)のオンライン視察を行いました。

私が委員長を務める「行財政改革調査特別委員会」において、富山市へのオンライン視察を提案企画し行いました。富山市では複雑化する地域課題の解決のため、様々な産学官民と連携を行い、市民参画によるまちづくりを新しい価値観を作り出しながら行っています。本区でも市民提案による事業提案制度が始まり、参考とするため実施しましたが、有意義な視察となりました。



女性に対する暴力撤廃の国際デーに合わせて毎年11月に開催される「あるこうよ むらさきロード」に参加、元新宿区議のよだかれんさんと。



目白駅前では不定期街宣を実施中、塚田ひさこのニュース配布や街宣のお手伝いをしてくれる方、随時募集中です。



衆議院議員のくしぶち万里さんと「コアポ街宣」地域の課題を国会議員に直接訴え、国と地方の政治をゆらさせ!



2023年は「失われた30年」によって失った富を取り戻すべき施策をおろそかにし、あまりに多くの悪法が可決した年。😡👎

今年、政府がやったことは、「老朽原発」の運転を可能にし、日本の武器輸出促進への道を開き、増税によって巨額の軍拡財源を賄い、障害を持った人間や高齢者などの社会的弱者にとって重要な現行の保険証を廃止する、これらのことを可能にする法案を次々と提出し、与党の数の力で成立させたことです。保険証廃止は財界の要望だけで実現したものであり、実際には国民の支持を全く受けていません。将来に大きな禍根を残す「まれにみる悪政」を推進したのが、岸田政権です。れいわ新選組は、規模は小さくとも、国会において緊張感をピリリと与える存在であるとお約束します。国と地方の政治を揺らします。ぜひ、れいわ新選組にお力をお貸しください。(2023.12.11 参議院本会議決算質疑における船後靖彦議員の発言要旨の一部引用)

information

《議会スケジュール》

令和6年第1回定例会(2月14日~3月26日)
・請願、陳情受付締切(2月8日17時)



メール: tsukada@toshima.site /
◀ メールフォームにアクセス

◎区政報告と区民のみなさんからの声を聞く「おしゃべり会」を、塚田ひさこ事務所(目白)や区民センターで、定期的に行なっています。ぜひ、ご参加ください。

*他にも、勉強会や区政報告会のお知らせは、塚田ひさこのHPやX(旧twitter)で発信します。



HP: toshima.site /
◀ ホームページにアクセス

